



國家圖書館 編

東亞同文書院

中國調查手稿叢刊

26

六月四日

六月三日

國家圖書館出版社



國家圖書館
編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

26

第二六冊目錄

昭和四年（一九二九）旅行日誌（第二十六期生）

尾仲嘉助

第八十卷

.....一

井上宗親

第八十一卷

.....八一

瀧口義精

第八十二卷

.....一八七

鳥山勉

第八十三卷

.....二四七

田島清三郎

第八十四卷

.....三二一

昭和五年（一九三〇）旅行日誌（第二十七期生）

清川瀨

第一卷

.....三七一

神谷清助

第二卷

.....四〇一

下川賢

第六卷

.....四二九

加藤隆徳

第七卷

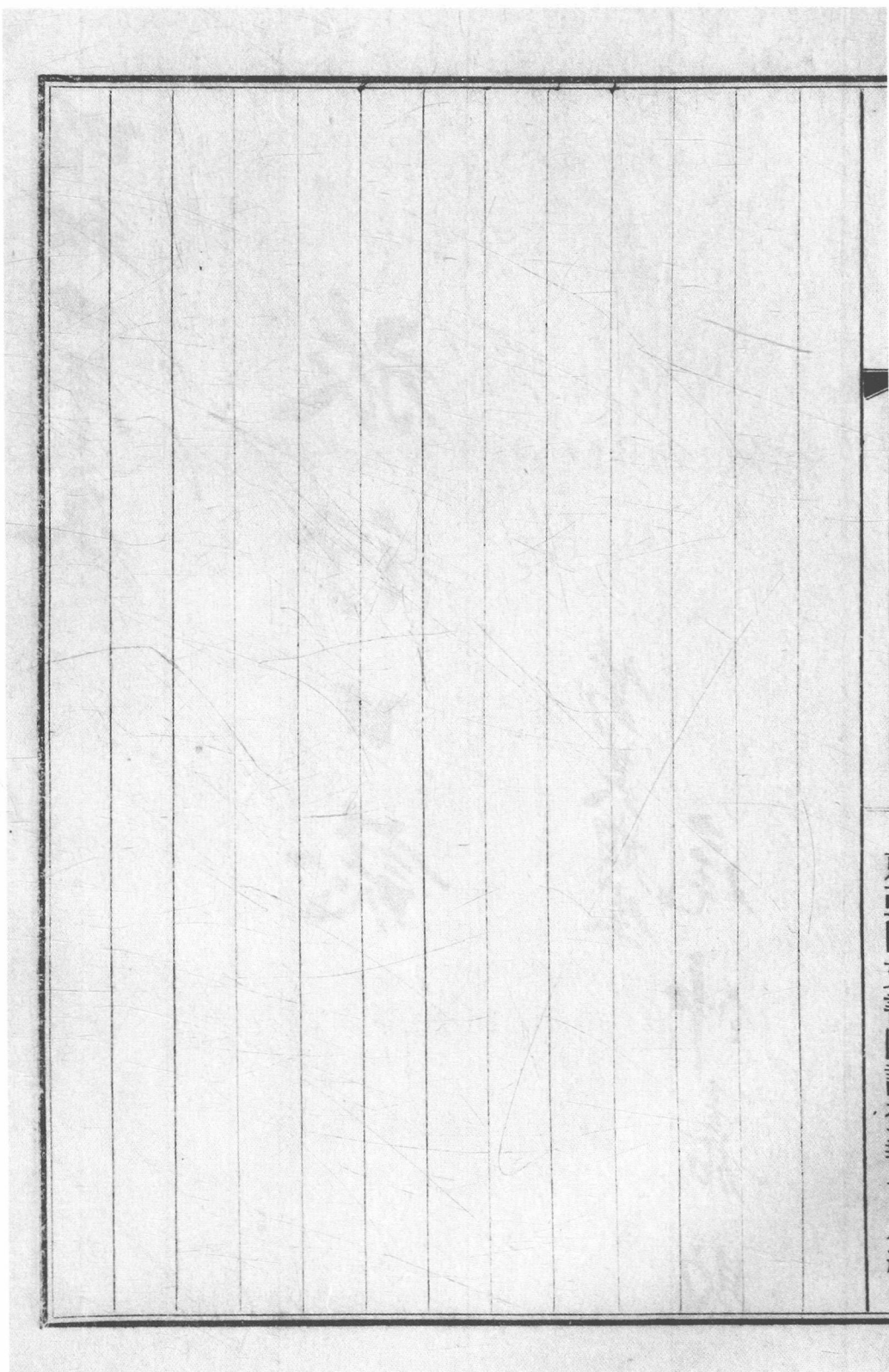
.....五一五

昭和四年度

旅行日記

第其期生

尾仲嘉助



第八十卷 調査旅行日誌

自序

自今旅行を以て人生の幸福を齎すものと
考へて居る。變化と進歩とのない人生は單調である
不幸でもある。旅行は單調である一面を取除くことは
幸有難い。變化と進歩、是れ旅行の常の變化と進
歩であるといふ事がある。

今回旅行の過る四年間の総決算であると思ひ、今
まゝにこの生活の轉期を劃する絶好の機会である。
旅行中のあの緊張な気分を憶へ、而つて名社会に出ても
飽きて此の光景を見る気持を絶たしむ。

自今不幸病氣の爲め、途中挫折と豫定の全部
を終つた事を出来ないが、長春の三姉妹は、厚い病
肥に闘ひながら忍耐の好い修練のうちに事と思ふ。

三姓かう意を極め重化を成す。後を思ふて存せられて
衆者の知れを極むの歸途、下スルカリーを雨潮江に
臨み、夜船屋の窓を透る月影に照す古里の山々に、死
るは此が最なる事なりと云ふ。一燈を惜み作らう、遠の故郷
を思ふは暗の夜に教——遠に旅する者のみ、悔み惜み哀
愁を思ふ儘思ふのである。

奉天にて院名一旬たりて雨露を形勢重化を傳へる
た。自是等事述ふて一々の偶然に之等西田由保の
重化を符号として事を想ふ。今更の故郷の調音目即
以外の意味に旅する甚る意叫ぶる事を痛感する。
金に見知りぬ世の旅人に、今更の知人に、左意を聲
の聲のあふき、何事も有難いもの、人情の機微が
かるゝもの。

高院氏 井中氏

官崎氏
姓村氏

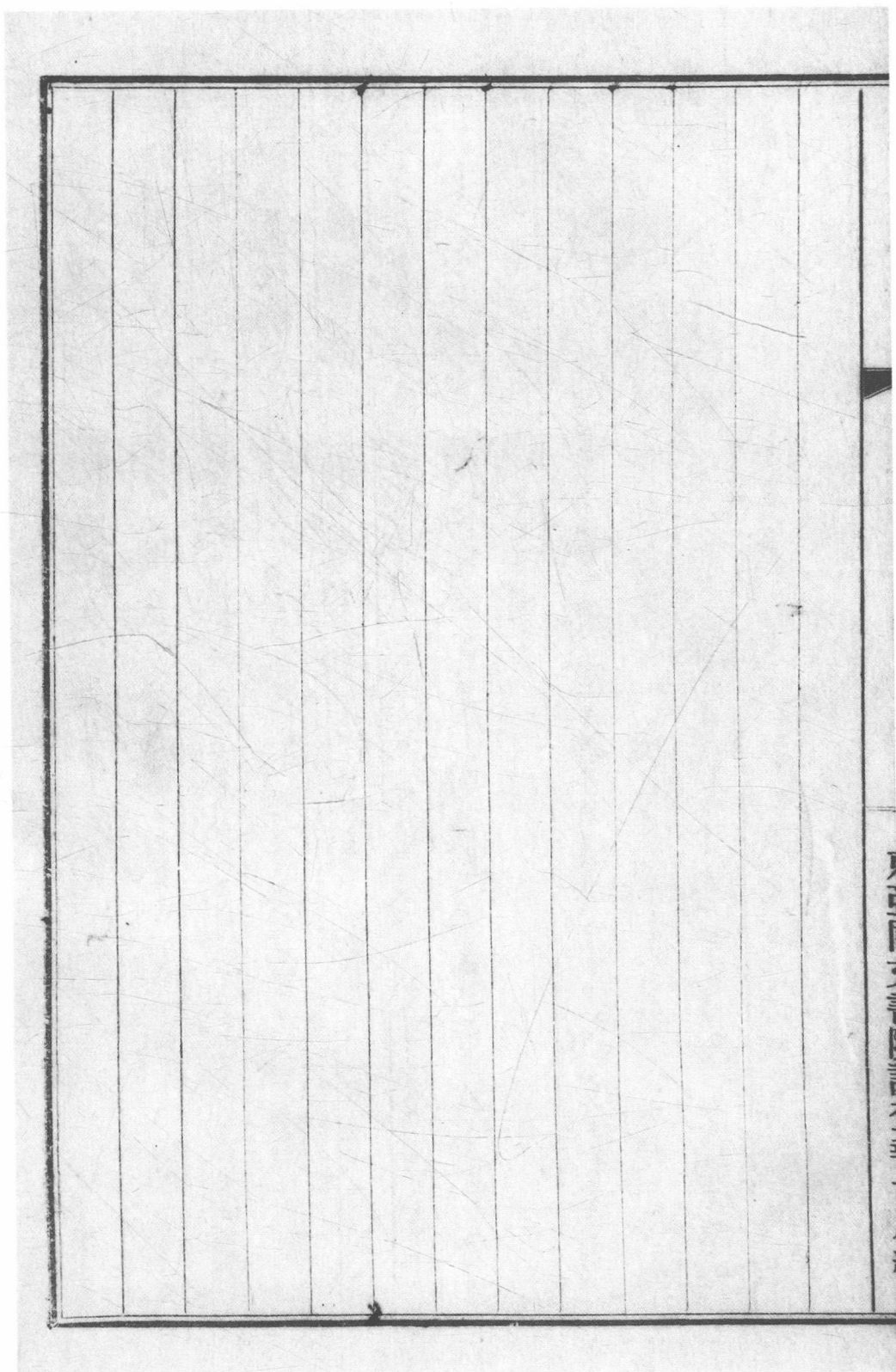
彭氏

高本氏

竹 門 氏

17
m
a

右諸氏口授甚感酬在表



五同圖

本通 廿日 本曜日 晴天

病の白である

維新 色焦が、あの有名な紀行會の組道の傍々に
年輩のあまた胸にせまりて……とあるゆゑに

實際其の要である。不安の中へ又又と知れぬ縁み

物い氣の合ふとやと縁がある事の前途に一層

殊に憧憬深を覚えられた。

昨夜通とて、旅の事やし結ぶる合ふ。罪のわいを

も面白く動かしなう一層のいふ十二端近きものが明にそれ

そと旅立ちの緊張を増す。夏の朝の光をふりかか

とくに明い。思ひながら校舎のわづら樹のへ新緑を増す

美し。トが上校の同業があるをあらう。いふ理き先に校

舎を出発する。

たーんか、いふ事と、各人様との陰謀が、出う、防方お書
現、健康の七気、物、三、為、船、客、皆、何、事、か、た、り、中、の、無、き、美
し、旅行中の書院、傳統の、其、

十時頃、爲せん、何そ、其の風を流し、橋の真下、
 舟に曳き、唯、あかた、エシシ、の聲、船の舳に碎き、
 音のみ、一、二、三、とあり。傳へ、友の弟、信を認めた。能
 の聲、あかた、舳を、續りて、此の處を、走ら。軒窓前、余
 向ふ、舟の、舳に、一、杯、たいて、船室に、降る。腹は、首、
 の、腹、ま、幸、あ、人、事、と、計、り、つ、い。

十月廿一日 在陽日 晴

いふより思ふに、
 朝程多分を走
 るに、
 其の旅先は、
 入国此地の橋

を燃うて歸す。朝中より歸るおんか、船の道筋と
標の方向より校正反對のえきあり、國を包むまわて
東に十餘里のえきあり、山東半島の北緯のえきのみ
（出た、船の海の色が、と海に出て長く見たかえきあり、
景色である、それ、下夜運の船で長崎に着いた様
を覚えている、然し其を此の左にえきあり、風景を形
成する規模の格段を異にする。此の二倍の
長を越す。大陸の東端として島國に見えらる、機大
さがある。

青島港外に回る軍艦が二隻停泊しておる。青島
も支那の港である。回る軍艦のえきあり、一、軍
艦は長崎の軍艦の回るえきあり、他國から見れば、強固
の防壁に對する、防壁がある、平威あるを見えらる、

無情なる一と支那兵は何處をあらま回に著し
 横道から軍を十數年、自らの國にあらせり、此國の
 支那をせりて事を支那に、意々年々渴望を達
 してたや喜望の地にある事なう。事業は何
 物も雄辯に、その其の事業の、時勢の波にあら
 ぬ事を求め、何物もその抵抗する事は出来ぬ
 者、日万腔の祝福を捧げたるのである。